

犬山城下町構想
～お城の見える風景の整備～

I -中期計画

II -長期計画

(犬山城500周年にむけて)

犬山城下町構想

～お城の見える風景の整備～

犬山城が名城といわれる理由は数奇な歴史もさることながら、木曾川や城下町など周囲の自然や街並みといった、景観の美しさがあるのではないのでしょうか？ 公共施設の移転に伴いその跡地には極力、人工の構造物を造らず、桜の木を植えるなどして犬山城と周囲の自然環境が一体となった風景と憩いの場を創出することが、町歩きしたくなる環境整備につながると考えます。

趣旨

- ・ **風景をつくる**

犬山城が見える風景を整備し風景価値を高めることで、行ってみたくなる町をつくる

- ・ **憩いの場をつくる**

市民や観光客の憩いの場をつくり、ゆったり時間を過ごすことができる町をつくる

- ・ **城下町らしさを演出する**

城下町らしさを演出する場をつくり、町歩きを楽しめる町をつくる

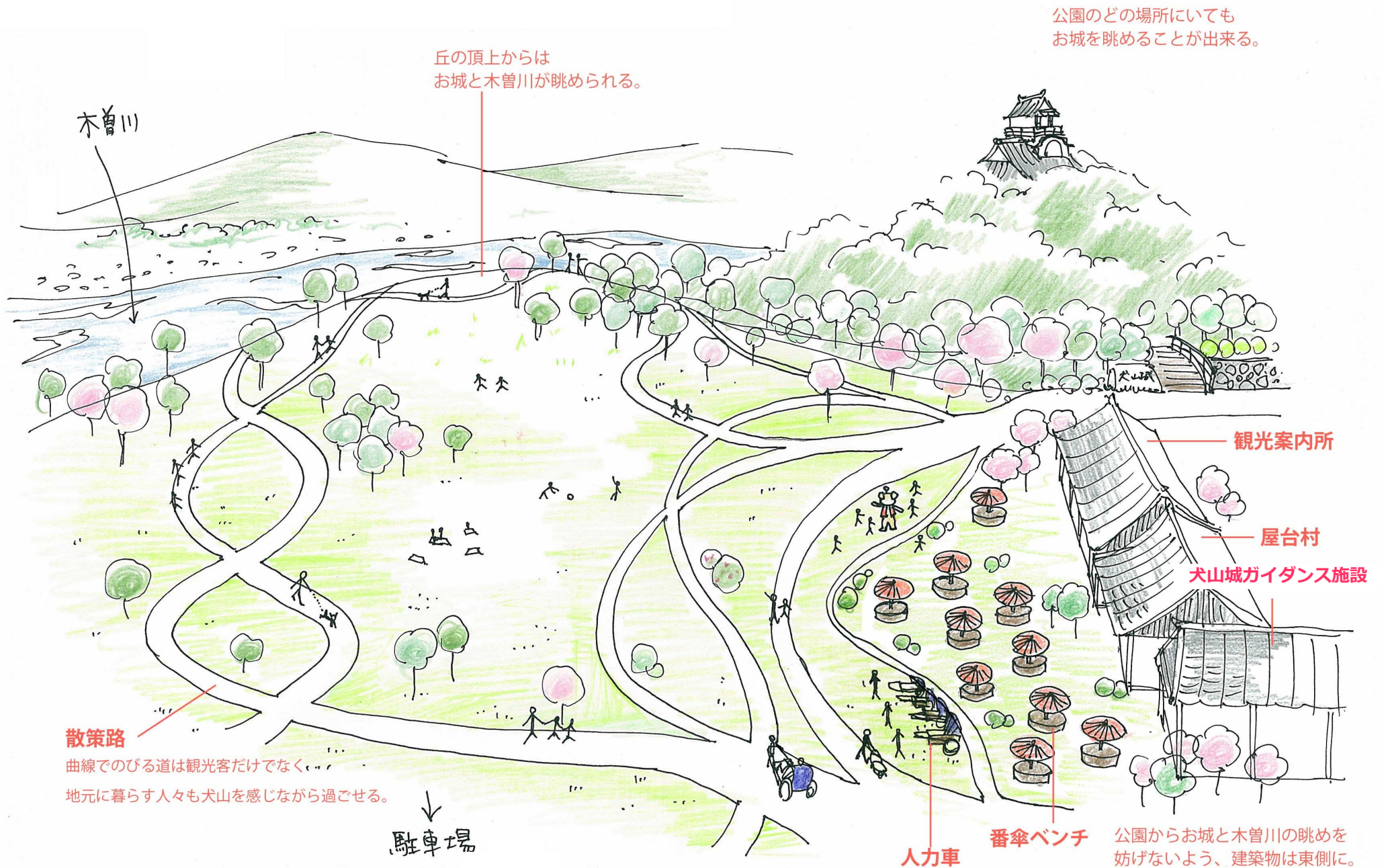
- ・ **駐車場対策をおこなう**

犬山城への車のアクセスルート、駐車場の整備する

I -中期計画

- 1、体育館、福祉会館を移転して跡地には桜の木を植樹し、満開の桜を背景に犬山祭の車山が行く**風景をつくる**。
- 2、丸の内緑地・キャッスルパーキングー帯を公園として整備する
 - ・季節の植物を植え常設の屋台村や休憩施設を整備し、**憩いの場をつくる**。
 - ・犬山城ガイダンス施設や観光案内所など、**城下町らしさ**を演出する場をつくる。
 - ・木曽川と犬山城が眺められる**風景をつくる**。
 - ・駐車場から犬山城までのアプローチを整備し、お城へ向かう際の**期待感**を醸成する。
- 3、北小学校は移転し、跡地は駐車場として整備する。駐車場への車でのアクセスは西側からとして城下町を迂回することにより、**城下町の渋滞を緩和**し、歩行者に**歩きやすい城下町**にする。
- 4、丸の内地区を車両進入禁止区域とし、歩行者に**歩きやすい城下町**にする。
- 5、江戸時代のように堀や城壁で丸の内地区を囲い、城下町と城郭の区分を明確にし、城郭の**歴史的価値**を高める。
- 6、本町通に「横丁」をつくり、**賑わいを創出**する。

視点①

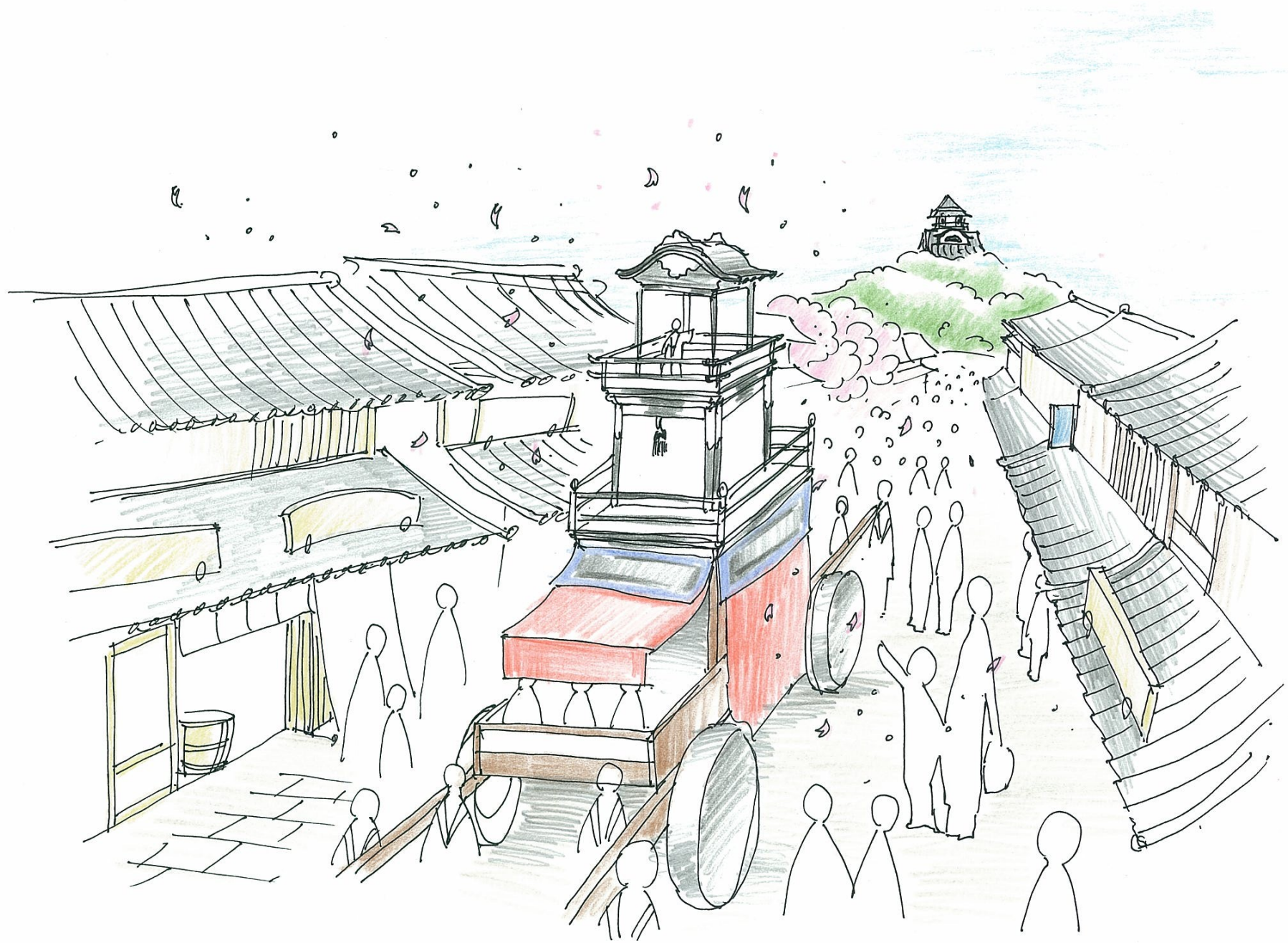


視点②

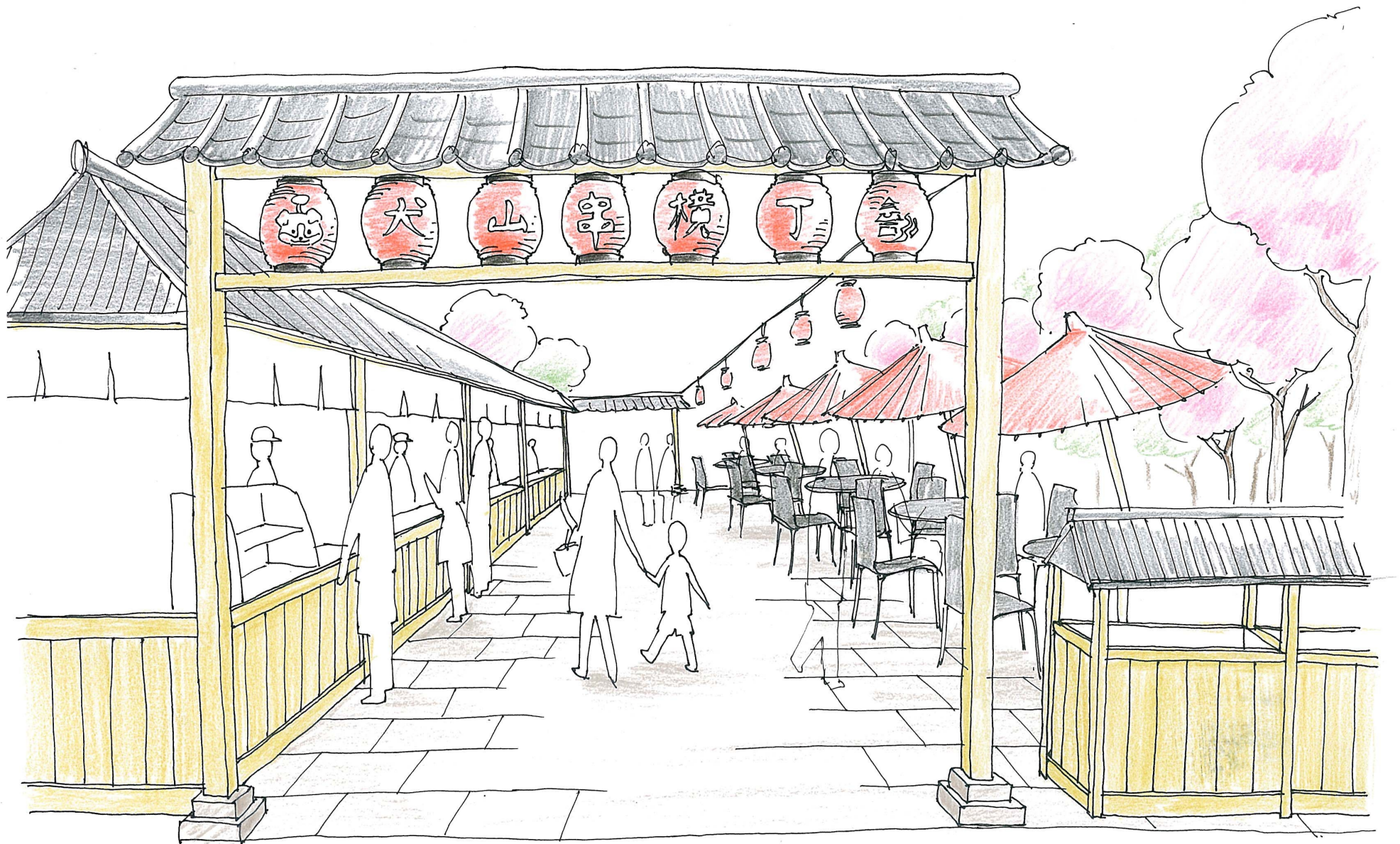
犬山祭では 満開の桜を背景に
車山が勢ぞろいする。

体育館跡地には 桜の木を植樹

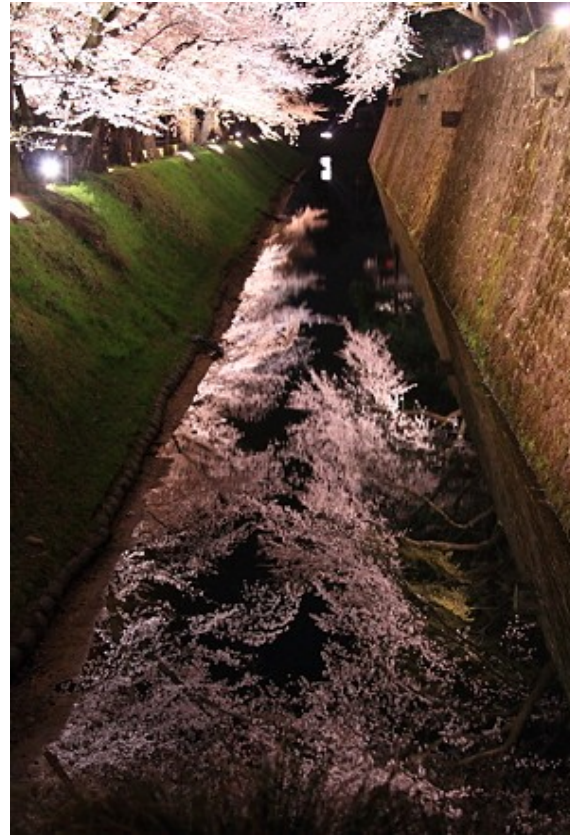




横丁イメージ



堀イメージ



Ⅱ-長期計画 (犬山城500周年にむけて)

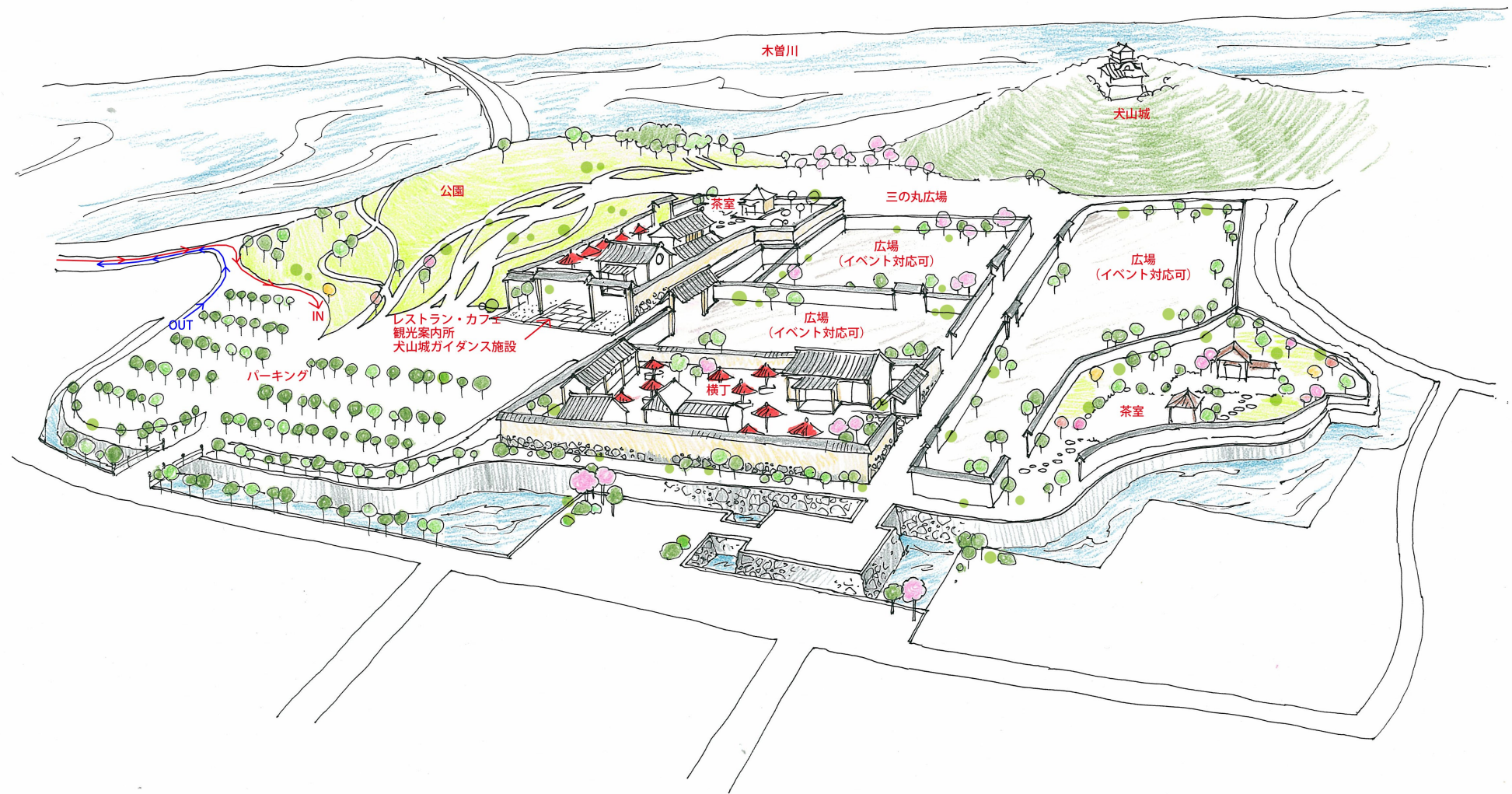
- 1, 犬山市文化史料館、犬山市文化史料館別館を移転し、**武家屋敷の区画と塀を再現し**、犬山城と城郭の**歴史的な価値**を高める。
- 2, **武家屋敷跡に木を植え**、城下町からのお城の眺めや犬山祭の際の**景観を向上**させる。
- 3, 武家屋敷跡の塀を再現し、その区画内にイベントができるスペースや横丁を整備し、**賑わいを創出**する。
- 4, イベントスペースや横丁を塀で囲むことによって無軌道なスペースの拡張を防ぎ、城郭内の**景観と環境を保全**する。
- 5, 江戸時代のように堀や城壁で城下町地区を囲い、城下町地区の範囲を明確にして域内を車両禁止地区とし、**安全で楽しい町歩き**ができる城下町とする。
- 6, 城下町地区には人力車や籠など昔のままの交通手段を導入する。

Ⅱ-長期計画案平面図

● → VIEW POINT
絵になる風景



Ⅱ-長期計画案イメージ



武家屋敷の堀イメージ-1



武家屋敷の堀イメージ-2

